



2026 SUPER FORMULA LIGHTS RACE REPORT

OKAYAMA INTERNATIONAL CIRCUIT

Rd.10 / 11 / 12

6.13[sat] - 14[sun]

[place] 岡山国際サーキット (岡山県美作市)

[weather] **sat** 晴れ **sun** 晴れ

[spectators] 未発表

Rd.1/2/3	FUJI SPEEDWAY	MAR 28 - 29
Rd.4/5/6	AUTOPOLIS	APR 25 - 26
Rd.7/8/9	SUZUKA CIRCUIT	MAY 23 - 24
Rd.10/11/12	OKAYAMA	JUN 13 - 14
Rd.13/14/15	Sportsland SUGO	AUG 29 - 30
Rd.16/17/18	MOBILITY RESORT MOTEGI	SEP 12 - 13

梅垣清が3戦連続の表彰台でランキング2位につける。 アクシャイ・ボーラ、オスカー・ブルツ、鈴木斗輝哉も、 各レースで力走をみせてポイントを獲得。

2026年全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権のRound10・11・12が6月13日(土)・6月14日(日)に岡山国際サーキットで行われた。前回の鈴鹿大会と同様にトップを目指して、4名のドライバーがし烈な戦いに挑み、梅垣清はRound10とRound12での2位を含め3戦連続で表彰台を獲得。オスカー・ブルツとアクシャイ・ボーラはRound10で入賞を果たし、鈴木斗輝哉は練習走行でのアクシデントから挽回をみせ2レースで連続ポイントを獲得した。



RESULTS

Race 10
予選 2位 決勝 2位

Race 11
予選 2位 決勝 3位

Race 12
予選 2位 決勝 2位

STANDINGS
DRIVERS 2位 | TEAMS 2位

Race 10	Race 11	Race 12
QUALIFYING		
P2/1'21.289	P2/1'20.820 Course Record	グリッドは第10戦の決勝レース結果
RACE		
P2/1'22.860	P3/1'24.173	P2/1'22.757

35 梅垣 清 | KIYOSHI UMEGAKI
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

RESULTS

Race 10
予選 4位 決勝 4位

Race 11
予選 7位 決勝 DNF

Race 12
予選 4位 決勝 9位

STANDINGS
DRIVERS 7位 | TEAMS 2位

Race 10	Race 11	Race 12
QUALIFYING		
P4/1'21.524	P7/1'21.591	グリッドは第10戦の決勝レース結果
RACE		
P4/1'23.327	DNF/1'24.143	P9/1'23.346

36 オスカー・ブルツ | OSCAR WURZ
PONOS Racing TOM'S TGR-DC SFL

RESULTS

Race 10
予選 7位 決勝 6位

Race 11
予選 8位 決勝 7位

Race 12
予選 6位 決勝 10位

STANDINGS
DRIVERS 9位 | TEAMS 2位

Race 10	Race 11	Race 12
QUALIFYING		
P7/1'21.861	P8/1'21.729	グリッドは第10戦の決勝レース結果
RACE		
P6/1'23.627	P7/1'24.206	P10/1'23.343

37 アクシャイ・ボーラ | AKSHAY BOHRA
PONOS Racing TOM'S SFL

RESULTS

Race 10
予選 8位 決勝 8位

Race 11
予選 5位 決勝 5位

Race 12
予選 8位 決勝 5位

STANDINGS
DRIVERS 6位 | TEAMS 2位

Race 10	Race 11	Race 12
QUALIFYING		
P8/1'22.007	P5/1'21.355	グリッドは第10戦の決勝レース結果
RACE		
P8/1'23.757	P5/1'23.950	P5/1'23.310

38 鈴木 斗輝哉 | TOKIYA SUZUKI
モビリティ中京 TOM'S TGR-DC SFL

QUALIFYING

天候:晴れ | 気温:23℃ | 路面温度:34℃

今回の舞台となる岡山国際サーキットは、梅垣と鈴木に関しては別カテゴリーで走行経験があるが、日本でのレース初年度のブルツとボーラにとっては初走行のコースとなる。金曜日の練習走行1回目は、セッション序盤にクラッシュを喫した鈴木と、車両トラブルに見舞われたボーラが出走できなかったものの、午後の走行には車両の修復が間に合い、予選シミュレーションでは鈴木が6番手、ボーラが8番手タイムをマークした。13日(土)10時35分から10分間で行われた公式予選1回目では、セクター2、セクター3で全体ベストタイムを記録した梅垣だったが、トップにわずか0.059秒差で2番手に。2回目の予選では自己ベストタイムをさらに0.5秒近く削り、従来のコースレコードを上回るタイムを記録したが、ライバル勢も同様にペースを上げたため悔しい2番手となった。ブルツは1回目で4番手に食い込み、2回目は7番手。鈴木は1回目で8番手だったが、2回目には5番手まで挽回した。ボーラは1回目が7番手、2回目が8番手だった。



RACE

Race 10 天候:晴れ | 気温:29℃ | 路面温度:44℃

Race 11 天候:曇り | 気温:24℃ | 路面温度:30℃

Race 12 天候:曇り | 気温:24℃ | 路面温度:33℃

13日(土)15時10分から行われたRound10決勝(25周)は、2番手スタートの梅垣がトップを追いかける展開に。一時はライバルの背後につけたが、逆転までには至らず2位でゴール。自己ベストグリッドの4番手からスタートしたブルツはそのまま4位でチェッカー。ボーラはスタートで1つ順位を上げて6位、鈴木は8位となった。

14日(日)9時20分にスタートしたRound11決勝(18周)は、2番グリッドの梅垣がスタートでライバルの先行を許し、3位のままでフィニッシュ。鈴木は予選順位をキープして5位でポイントを獲得。7番手スタートのブルツは11周目にコースアウトを喫して戦列を離れることになり、ボーラが7位でゴールした。

14時10分からのRound12(18周)は、2番グリッドの梅垣は最後までトップを追い立てて2位。5番手を争っていたボーラとブルツは最終ラップで両車が接触し、ボーラはチェッカーを受けることができず10位。ブルツはコースに復帰したものの9位でレースを終えた。鈴木は着実に走り5位でフィニッシュ。こちらもポイントを獲得した。



Driver
梅垣 清

最初の2レースはペースが苦しい場面もありましたが、第12戦ではそれも改善されて、いい走りができたと思います。このコースはスタートで前に出られなければオーバーテイクは非常に困難です。ポイントランキングも逆転されてしまいましたが、3戦すべてで表彰台に上がったことは、ポイントを獲得できたという意味ではいい週末にできたと思います。次戦のSUGOは得意なコースですし、しっかりデータなどを見比べて、自分が成長できるように頑張っていきたいと思っています。

Driver
オスカー・ブルツ

初めてのコースで経験不足という点ではとても難しかったのですが、予選では今シーズンベストの4位に入るなど、着実な進歩はあったと思っています。好スタートを切れた1レース目はタイヤの消耗を想定してペースを抑えていたことが裏目に出て、最終的に上位に追いつくことができずにレースを終えてしまいました。全体を振り返ると、レースペースは非常に良かったと思いますが、課題は予選です。また、ミスが多すぎました。SUGOでは3戦すべてでポイントを獲得することが目標です。

Driver
アクシャイ・ボーラ

決勝のレースペースは非常に良かったです。3レース目に関してはニュータイヤを投入したアドバンテージがありましたが、そうではない1レース目でも確実に上位よりもいいペースでした。ただ、このコースはレースでの挽回が難しいため、予選での苦戦が大きく響く結果になりました。次戦のSUGOも僕にとっては初めてのサーキットなので、出来るだけ早くコースを覚えたいです。そして予選のパフォーマンス向上にも力を入れたいです。

Driver
鈴木 斗輝哉

専有走行の1回目でクラッシュしてしまったところから、うまく流れを作れませんでした。鈴鹿大会でもトラックリミットで流れを崩してしまいましたし、そういうところも含めて、まだ周りの選手に比べて実力で劣っている状態です。それでもいろいろな発見ができた大会だったので、次戦に活かしていきたいです。細かい自分のミスで流れを潰してしまっているのもう少し落ち着いて週末を過ごせるよう、自分を客観的に見て判断していければと思います。

Team Director
山田 淳

岡山大会前のテストに参加できていなかったなか、全体的にみるとクルマのパフォーマンスはそれほど悪くなく、スピードはあったと思っています。予選に関しても、本音を言うともっと差をつけられると思っていたのですが、梅垣が頑張っただけで僅差の2番手につきました。近年、岡山では好リザルトを残せていなかったため、今回の結果に一定の安堵はあるものの、やはり勝負事なので優勝しなければと思います。次戦のSUGOもアクシャイとオスカーにとっては初めて走るサーキットですが、コース特性としては彼らも自信を持って走れると思うので、期待しています。

